



144年の歴史を胸に 井内小学校休校式

3月末で休校する井内小学校で3月25日、児童や地域住民ら約220人が出席し休校式が行われました。井内小は1874(明治7)年に地福寺を借り内谷小学校として創立され、かつては1000人を超える児童が学びました。式では6年生とともに在校生5人がスライドでこれまでの歩みを振り返り「井内小学校での思い出は私たちの宝物です。休校になっても僕たちの心の中で生き続けます。井内小学校ありがとう」と感謝の言葉を述べました。最後に出席者が起立して校歌を斉唱し、慣れ親しんだ学びやに別れを告げました。

中央構造線池田断層で新たな魅力を発見

中央構造線池田断層を巡る三好ジオツアーが3月18日、三好市内で開催されました。香川大学工学部長の長谷川修一教授の案内で、市内外から30人が中央構造線が動いて今の池田町の地形になったことがよくわかる7か所を巡って学びました。長谷川教授は、「傾斜地で暮らせるのは、大地震による大規模地すべりのおかげ」などと説明。池田高校1年の佐川颯一朗さんは、「岩盤の質が違うことなどを実際に見ることができ、住んでいてもわからないことがたくさん知れてよかった」と三好市の新たな魅力に目を輝かせていました。



フォトコンテスト最優秀賞に「渓谷に思いを馳せて」

三好市の風景を対象とした「第5回千年のかくれんぼフォトコンテスト」の表彰式が3月21日、三好市保健センターで行われました。市内外から429点の応募があり、最優秀賞にはJR多度津駅と大歩危駅の間を走る観光列車「四国まんなか千年ものがたり」を小歩危峡を見下ろす絶景ポイントで捉えた美馬克行さん(徳島県)の「渓谷に思いを馳せて」が選ばれたほか、33点の写真が入賞しました。入賞作品は今後観光パンフレットなどに活用されるほか、4月下旬までJR琴平駅内の観光列車専用ラウンジで展示され、その後も県内外で写真展が開催される予定です。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりの情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎72-7646

「いさらみ」が2年連続最優秀 柔道大会決勝戦で双子対決 総合体育館で避難訓練



今年で8回目を迎えた富士正晴全国高等学校文芸誌賞の授賞式が3月17日、ホテル大歩危峡まんなかで行われ、受賞者に賞状などが贈られました。同賞は三好市出身の作家富士正晴氏の功績をたたえ、共に、高校生の文芸創作活動への関心を高めようと創設されたものです。全国54校の応募の中から筑紫女学園高等学校(福岡)の生徒が制作した「いさらみ」が2年連続で最優秀賞を受賞。県内では協町高校の「文卵」が2年連続で奨励賞に選ばれました。



徳島県春季少年柔道大会が3月11日、中央武道館で開催され、県内の小学生196人が参加。三好市からは井川武道会の23人が練習の成果を発揮しました。個人戦の新4年生の部では井川武道会の双子の藤本兄弟が決勝戦で戦い藤本翔湧くんが2年連続で優勝、藤本翔稀くんが準優勝。翔湧くんは「優勝できてとてもうれしいです。来年も2人で決勝戦を戦えるように練習を頑張りたい」と喜び、翔稀くんは「決勝戦を2人で戦うことができ楽しかった。次は翔湧に勝って優勝したい」と意気込んでいました。



地震など緊急時に適切な対応が図れるよう3月8日、池田総合体育館で避難訓練が行われました。震度5強を想定したこの日の訓練では、昼から会議室を利用する社協職員が参加。施設職員が緊急放送で館内に周知を図るとともに、揺れの収まりを待つ玄関前まで利用者を誘導しました。指定管理者の大西さんは「利用者の皆さまの防災意識を高められるよう事前周知を図るとともに緊急時に迅速な対応ができるよう訓練を積み重ねていきたい」と決意新たに語ってくれました。

三好市の文化を英語でおもてなし

外国人観光客に対応できる人材を育てようと3月16日、おもてなし英語講座がかずら橋や市内の温泉などで行われました。徳島県立総合大学校主催で開催され、1回目と2回目ではおもてなしをする上で大切なマナーや接客英語などを学び、3回目となる今回は実践編として、パキスタンやナイジェリアなどから来ている鳴門教育大学の留学生5人を実際におもてなし。池田町在住の山口静子さんは、「コミュニケーションを取ろうと積極的に話かけ、いろいろな国の人とお話しすることができ楽しかった」と笑顔で語ってくれました。



旧政海旅館に東京の企業が新たに進出

スポーツ関連の広告代理事業や人材紹介業務を手がける「株式会社イン・ザ・ゾーン(東京都)」が3月7日、池田町旧政海旅館にサテライトオフィスを開設し開所式が行われました。開所式では、伊藤隆太代表取締役が「企業誘致セミナーに参加し、三好の人の温かさに触れ、即日進出を決定しました。今後西日本エリアの拠点として地元の若い人材の方々とともに事業を拡大していきたい」とあいさつ。県や市など地元関係者らが出席し門出を祝いました。イン・ザ・ゾーンは、三好市では6社目のサテライトオフィス進出企業です。